

事務のIT化でミスを防ぎ温もりある市政を地域とつなげる『社会的処方』で健康長寿へ



自由民主党西東京市議団 山田 忠良

問 事務処理のミスを防ぐには、作業工程を削減し、可能な限り自動化することが必要。AI・RPAを積極的に導入すべきと考えるが見解は。
答 保育や介護などの分野で現在検証を行っており、今後拡大していく。
問 開かれた市政を掲げつつ職員の安全を確保するために、市庁舎への防犯カメラ設置が必要だ。見解は。
答 庁内で発生した事案を踏まえ、必要性が高い場所から順次防犯カメラの設置を進めていく。
問 コロナ禍において地域活動が停滞している。薬ではなく地域とのつながりを処方する『社会的処方』の取組を提案するが、見解は。
答 地域包括ケアシステムや地域協力ネットワークを通じ、地域との緩やかなつながりを促すことで、健康応援都市を実現していく。

問 刑法犯の件数は右肩下がりだが、再犯率は過去最高となった。市の再犯防止・少年への非行防止の取組は。
答 第5次西東京市地域福祉計画策定に向けて、保護司と連携し再犯防止・就労支援の具体的な取組を進める。教育委員会においては、セーフティ教室や薬物乱用防止教室、人権教育プログラムなどを通じて非行防止の取組を進めている。



田無第二庁舎防犯カメラ

少数者の意見に耳を傾け、寄り添うこと。それが政治であり、行政の役割だ！



立憲フォーラム 佐藤 大介

問 視覚障がい者用の音響式信号機やエスコートゾーンの設置に対する要望書が団体から市に提出されて2年が経過している。昨年も確認したが再度進捗状況を伺う。
答 田無警察署に進捗状況を確認し、引き続き検討を行うと伺っている。
問 確認したのはいつか。
答 昨日。
問 質問通告をしたから急いで昨日確認したと思わざるを得ない。昨年も進捗状況を伺っている。もっと早く確認できたはず。これが、市長が言う「障がいのある方やその家族が住み慣れた地域で安心して安全に生活できるようなまち」なのか。
答 定例会が終わると、議会で出た様々な意見を庁内で情報共有し、対応すべきものは対応していくが、今回の件は十分それがなされていない

った。改めて庁内で徹底していく。
意見 政治とは少数者の声に寄り添うこと。市長には「市民は俺が守ってやる！」と、そのくらいの気持ちで取り組んでいただきたい。

その他質問

- ◇老老介護、認認介護
◇通学路の安全対策
◇小中学校の水泳授業
◇新型コロナウイルスの現状



音響式信号機

防災市民組織補助金の大幅拡充を実現！市はマンションの防災対策を加速せよ！



自由民主党西東京市議団 富永 雄二

問 本市には集合住宅(マンション)が密集しているエリアがある。市の便利帳では、防災については戸建て住宅向けの情報がメインになっているようであるが、本市はマンションの防災についてどのように考えているのか。マンションにお住まいの方々に、災害(特に震災)への備えの意識を高めるために、行政が情報の発信や支援を行うことは極めて重要であると考えている。
当初予算の質疑のときに、防災市民組織への補助金の見直しを指摘させていただいたが、今年度の補助金はどうなっているのか。
答 マンションについて、固有の課題を踏まえた防災対策が必要と認識しており、自助、共助の向上に努めている。防災市民組織の約半数は分譲マンションを含む集合住宅が占め

ている。今年度は世帯数に応じて補助額の加算を行う。さらに、トイレ用の資機材への補助を、新たに加える。
意見 補助金を拡充していただいたことに感謝する。引き続きマンションの防災対策を進めてほしい。

その他の質問

- ◇谷戸町2丁目コープ前溢水対策工事
◇中学校の部活動など



市内のマンション

生命尊重教育としての学校飼育動物活動 西東京市モデルの推進を



自由民主党西東京市議団 中川 清志

問 本市教育の特色の1つ、学校飼育動物活動の評価と、今後は。
答 本活動を教科や、特別活動などに位置づけ、人権・道徳・生命尊重教育を推進し、子どもの自己肯定感や自尊感情の醸成に資する。
長期休業中の飼育活動を地域に受けていただくことで、保護者や地域の方が学校に足を運びやすくなる。地域と学校の連携協働等が進むことも期待できる。獣医師会と連携し、一層充実するよう優れた実践事例の提供や各学校の実態に応じた指導、助言を行っていく。
意見 教科に位置づけ教育目標がある。地域学校協働活動で支える。獣医師会と連携する。これらは、学習指導要領に記載され、地域学校協働活動の推進方法とも合致している。愛するものを失った哀しみ、つらさ

など、間接・疑似体験ではできない体験を与える方法を、大人は考えなければならない。子どもから体験を取り上げるのは簡単。そういった経験をするために大人は何ができるか、それを考えるのが地域に住んでいる大人の責任、未来に対する責任だと思う。すばらしい西東京市モデルを、ぜひ広げていただきたい。



誰もが輝くことができる共生社会の実現へ！新しい時代を皆さんと共に。



自由民主党西東京市議団 酒井 ごう一郎

総合計画策定のための市民参加は
問 子ども条例施行により子どもからの意見聴取が重要。次世代を担う若者、小中学生高校生の参加手続は。
答 シンポジウムや小中学生対象のワークショップを開催し、意見交換した。計画策定の中で反映していく。
都市計画マスタープラン
問 現在の都市計画マスタープランでは東伏見駅、西武柳沢駅を中心としたゾーン設定だがゾーンの変更は。
答 次期マスタープランでは鉄道駅周辺を地域の拠点とし、拠点別にまちづくりの方向性を示していく。
西武柳沢駅周辺のまちづくり
問 駅北口のアクセス道路は進展が見られない。駅へのアクセスの利便性、防災機能の向上のまちづくりが望まれているが、市の考えは。
答 整備が必要だと認識している。

機運醸成に向け支援を行いたい。

保谷障害者福祉センターと富士町福祉会館

問 合築が検討されたが進んでいない。共生社会の実現のため検討が必要だ。検討状況は。
答 複合化を含め様々な視点から検討を進める。

その他質問

- 9項目



保谷障害者福祉センター

連続立体交差を西武柳沢から花小金井間に！田無駅南口広場の進捗状況、北口は27年。



自由民主党西東京市議団 坂井 かずひこ

問 連続立体交差事業の井荻駅から西武柳沢駅間の現状・今後のスケジュールは。また花小金井駅まで延伸される計画はないのか伺う。
答 用地測量等を実施した後、令和5年度までに都市計画事業認可を取得する予定。事業期間は15年間を想定している。
花小金井駅までは、早期実現に向けた要請活動を令和2年12月東京都及び西武鉄道株式会社に対して、多摩北部都市広域行政圏協議会を通じて行っている。
問 田無駅南口広場の整備の進捗状況について伺う。
答 昨年度までに用地取得契約を3件締結し、今年度は2件の用地取得契約を締結した。
問 田無駅北口再開発後27年が経過している。また新たな再開発が必

要な時期にも来ていると考えているが、市の見解を伺う。ペDESTリアンデッキの老朽化も進んでいるが、今後の改修などの考えを伺う。
答 田無駅北口は駅前商業施設がまちのにぎわいに寄与しており、商業・業務施設が集積する商業中心拠点になっている。ペDESTリアンデッキは日常の視視点検に加え、定期的内部構造の点検を行っている。



西武柳沢駅

*RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション) ソフトウェアロボットまたは仮想的労働者と呼ばれる概念に基づく、事業プロセス自動化技術の1つ。
*社会的処方 患者の課題を解決するために、地域の活動やサービスなどの社会参加の機会を処方すること。社会的に孤立しないよう地域資源を活用することで、患者の健康やウェルビーイング(幸福で豊かであること)を向上させることを目的としている。
*エスコートゾーン 横断歩道に設置し、視覚障がい者が横断方向の手がかりとする突起形状の道路横断帯のこと。